**酒田ふたば園の教育方針**

**酒田ふたば園の教育・保育に関する教育課程について**

**ふたば園の教育の特色**

**保育士は各組の教育・保育の教育課程を週案・日案の中に取り入れています。**

1. 国語

〇2歳児。「あいうえお」の文字を読む練習をする。木のカードを繰り返し使うこと。

〇3歳児。言葉の「単語」を読めること。指でなぞって声を出して絵本を読むこと。自分の名前を読む、書けるように何度も指導する。

〇4歳児。「読書」ができる。本を朗読する楽しさを教えること。字を書けるようになること。手紙を書けるように練習する。文章を読んで簡単な算数の問題が解けるようになること。

　〇5歳児。「読書」ができる。絵日記が書ける。声を上げて朗読ができる。文章を読んで算数の問題が解ける。文字を読んで、その意味を考え、自分の意見を書けるようになること。

・演劇の台詞が暗記できる。協力して劇やミュージカルができること。

・常に文字を読んで考える習慣をつけること。ホワイトボードを使って、一日の計画など書くこと。諸注意も文字で書いて繰り返し指示すること。

・朝のクラスの会で5分「あいうえお」の文字を読む練習をすること。帰りの会でも、一日の反省をホワイトボードを使って文字で表わして、繰り返して読む練習をすること。

1. **算数**

〇2歳児。10まで指で数える練習をする。

〇3歳児。順序数10まで指で数える練習をする。10まで数字を読み、書けること。かけ算2の段・5の段の「九九」を暗記する。集合数1～10まで数の大小を教える。順序数50まで口で言えること。

　〇4歳児。順序数100まで言えること。10までの数字が書けること。10までの数字の足し算、引き算を順序数で答えられること。かけ算の3の段、4の段の「九九」を覚えること。

　〇5歳児。順序数100まで言えること。位取りを知らせる。百の位を知ること。集合数で足し算と引き算を教えること。かけ算６の段、7の段、8の段、9の段の「九九」を暗唱する。

・常に数を念頭に置いて保育士は教育に当たる。

・時計を読ませる。朝の時間、帰りの時間など。何時までと約束させる。

・今日は何日。誕生日は何時と暦を意識させる。

・体重、身長を覚えさせる。・気温を意識させる。

**3．英語**

・全員が外国人による英語教室で英語を習う。

　・英語の発音、言葉を聞き取る力をつける。遊びの中で英語を身につける。2歳児からDVDの中で英会話を楽しむ。英語の単語を覚える。簡単な会話ができるようにする。

　・英語で思考する能力を養う。

　・「アルファベット」の文字を書けるようにする。

**４．図工**

　・線を書く。直線、曲線、丸、円、四角、波線など。

　・面を書く。線で書いたものを塗りつぶす。

　・人の顔を描く。目、口、鼻、眉、髪、など観察させて描く。

　・人を描く。顔、手、体、足、靴、など観察して描くこと。黒はできるだけ使わないで濃い色で縁取りさせること。線だけの手や足をかく園児の指導をすること。

　・いろいろな色を使って、絵を描く。暖色と寒色があることを注意しながら、色で形や感情を表現させる。下絵は黄色で描いて、形ができたら色を塗り、最後に濃い色で縁取りして、絵の具で全体を塗って完成させる。

　・絵で風景や思い出など、具象画を中心に指導する。

　・絵で物語ることを楽しみにする。

・ぬりえはいろいろな色を使わせること。はみ出さずに塗ることができるように指導すること。

・工作は、はさみの使用、のりの使い方など。ものをつくり出す喜びを知らせる。

・粘土は大きいものを一つつくる練習をさせる。人の首(人の顔)、動物、花、など。小さいものたくさんつくるのは意味がない。本当の遊びで1,2歳児まで。

1. **音楽**

**・**遊び時間、食事の時間、寝る時間など、常に音楽を流すこと。無意識のうちに音楽の世界の脳が反応する。数学と同じ左脳。感性を成長させる。抽象の世界に導き入れる。

**・**感情的にならない理性的な子に成長する。

**・**絶対音感が3歳児までに決定すると言われている。物音を音階に直すことがでる。

**・**音楽と生活、仕事、授業を結びつけて行動させる。

**・**音階を教える。耳で音を聞いて、その音を声で出すことで音階を教える。

**・**楽器に触れる。1拍子、2拍子など音の速さやワルツ、ブルースなどの曲の速さ、特色を教える。

**・**音が「楽しさ」「悲しさ」「激しさ」「喜び」などを抽象的に表現していることを教える。

**・**みんなで合奏する楽しさと音楽の表現のすばらしさを教える。

**・**音で体を動かす遊びを楽しむ。

1. **体育**

**・**小学校で行う体育の時間に習う。

歩くこと、走ること、ドッチボール、ラジオ体操、マット運動、ボール遊び、スポーツ、水泳、　　　　　運動会、鉄棒など。

・原則として、怪我をしない程度にする。幼児は体ができていないので、絶対無理をしないこと。

・骨格ができることが先ですので、専門的なものは家庭で、お習いごととして行うこと。

・スポーツのルールを知ることは難しいので、あくまで遊びとして行う。

・スポーツをサッカーのみ指導するが、これも興味のあるもののみで、全員に強制はしない。

・体の成長のために、体のバランス、筋力、体力、忍耐力、競争心などをつけさせる。

1. **リズム体操**

**・**音楽に合わせて体で表現することによって、抽象的な知能が成長し体と心の均整のとれた、優れた感性をもつ園児をつくることを目的とする。

**・**音楽とリズムを元にした踊り、楽器の演奏など、総合的な教育を目標とするものである。

**・**夏祭り、福祉施設慰問、運動会や発表会など行事を先取りして準備するものとする。

**・**「花笠踊り」「鳥海山音頭」「酒田甚句」は3年間で必ず習得させるものとする。

**・**ピヤニカ、和太鼓、洋太鼓、タンバリン、カスタネット、シンバルなどの合奏ができること。

**・**全員で楽しむこと。その達成感を教育する。